

平成 28 年 7 月 16 日

P T A 第 2 回運営委員会

# あしたのあさひ

～ P T アクションと校長室をつなぐ～



県立旭高等学校長 古谷康司

インターハイの県予選が終わりました。どの部も力を出し切ったと思います。校長として、できるだけ多くの試合を見に行きましたが、どの会場にもたくさんの旭高校の生徒が応援に来てくれたことで、選手は勇気づけられたと思います。これが旭高校のいいところで、チーム旭として他校にはない力を引き出していました。その中で、女子バスケットボール部は 2 連覇で 4 年連続の全国大会を、また、水泳部は女子個人自由形 800m 決勝で 2 位となり、関東大会を決めました。一つ上を目指してがんばる姿を応援し、力が発揮されることを楽しみにしています。

今年度も生徒のボランティアが盛んです。サッカー部は 5 回目の気仙沼復興支援を行います。現地の少年サッカーチームとの交流とともに、復興活動で、いつまでも「忘れない」気持ちを持ち、防災に対する意識を旭高校でも伝えてくれると思います。この取組は NHK ラジオ仙台放送局で取り上げられる予定です。

校長として、旭高校を安心して安全な学校にすることが何よりも大切と思っています。

自分の「いのち」を守る。いつ起こるかわからない自然災害への準備を怠らず、助かる可能性を高くするため、放課後の避難訓練や帰り道の確認（1 年）をしました。

また、ルールを守り、思いやりの気持ちを持つ。さらに、人の気持ちやものを大切にする気持ちを持つことで、「交通事故」、「いじめ」「盗難」をなくそうと、生徒に繰り返し話し続けていきます。



いのちがあつての、学びであり、部活動であり、未来設計です。